

2021年1月21日 全7頁

Indicators Update

2020年12月貿易統計

欧米での経済活動制限による需要減少を受け、輸出は足踏み

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎

[要約]

- 2020年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+2.0%とコンセンサス(同+2.4%)を若干下回ったものの、25ヶ月ぶりにプラスとなった。輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比▲3.5%と7ヶ月ぶりにマイナスとなった。地域別に見ると、アジア向け(同+3.2%)は3ヶ月連続で増加したものの、米国向け(同▲7.8%)、EU向け(同▲16.7%)が大幅に減少した。欧米で実施された新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響を受け、輸出は足踏み状態にある。
- 貿易収支(季節調整値)は4,771億円と6ヶ月連続で黒字となった。10-12月期は7-9月期から黒字幅が拡大したため、10-12月期実質GDPの外需寄与度はプラスとなる公算が大きい。
- 輸出数量は2020年10-12月期に大幅に増加したが、2021年1-3月期も緩やかに増加するとみている。地域別に見ると、EU向けはロックダウンなどの影響によって減少するものの、年末に追加の経済対策が成立した米国向けや、経済が好調な中国向け輸出は増加基調を維持するだろう。また、足元では情報関連財や資本財の外需が持ち直しており、短期的には輸出の下支え要因となる。

図表1：貿易統計の概況

		2020年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲21.9	▲28.3	▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	
	コンセンサス									2.4	
	DIRエコノミスト予想									4.0	
	輸入金額	▲7.1	▲26.1	▲14.4	▲22.3	▲20.7	▲17.4	▲13.2	▲11.1	▲11.6	
	輸出数量	▲21.3	▲27.3	▲26.9	▲21.9	▲14.9	▲7.7	▲1.6	▲4.0	▲0.1	
	価格	▲0.7	▲1.4	1.0	3.5	0.1	3.0	1.5	▲0.2	2.1	
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	1.5	▲14.6	▲0.8	▲14.0	▲11.6	▲8.4	▲5.7	▲2.4	▲2.1	
	価格	▲8.4	▲13.5	▲13.7	▲9.6	▲10.3	▲9.7	▲8.0	▲9.0	▲9.7	
	貿易収支(億円)	▲9,312	▲8,413	▲2,729	71	2,444	6,837	8,692	3,661	7,510	
	輸出金額	▲11.1	▲5.1	1.6	6.0	5.4	4.0	2.6	▲0.3	▲0.1	
	数量	▲15.1	▲9.4	4.5	6.3	10.5	2.6	6.6	3.7	▲3.5	
	価格	4.7	4.8	▲2.7	▲0.3	▲4.7	1.4	▲3.8	▲3.8	3.6	
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	0.1	▲11.1	▲1.5	▲2.8	1.2	2.3	4.7	▲3.6	1.3	
	数量	7.9	▲10.1	0.0	▲2.7	▲0.0	0.5	4.8	0.7	0.6	
	価格	▲7.2	▲1.1	▲1.5	▲0.2	1.2	1.8	▲0.1	▲4.3	0.6	
	貿易収支(億円)	▲8,893	▲4,765	▲3,164	1,395	3,645	4,708	3,658	5,495	4,771	
	税関長公示レート	108.56	107.17	107.78	107.23	106.19	105.96	105.51	104.68	104.11	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

大和証券グループ 株式会社大和総研 丸の内オフィス 〒100-6756 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースター

このレポートは投資勧誘を意図して提供するものではありません。このレポートの掲載情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。大和総研の親会社である大和総研ホールディングスと大和証券(株)は、大和証券グループ本社を親会社とする大和証券グループの会社です。内容に関する一切の権利は大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等はご遠慮ください。

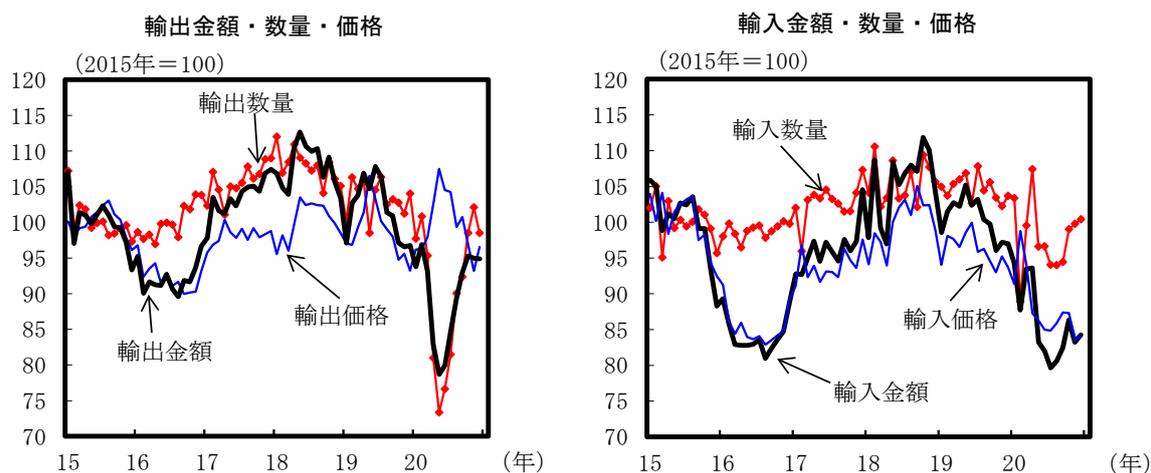
【貿易金額】輸出金額は25ヶ月ぶりにプラス転換も、足踏み

12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+2.0%とコンセンサス（同+2.4%）を若干下回ったものの、25ヶ月ぶりにプラスとなった。他方、季節調整値では前月比▲0.1%と2ヶ月連続でほぼ横ばいとなった。新型コロナウイルス感染拡大の深刻化を受けて欧米で実施された感染拡大防止策の影響を受け、輸出は足踏み状態にある。なお、2020年の輸出金額は前年比▲11.1%と2年連続で減少した。

12月の輸入金額は前年比▲11.6%、前月比（季節調整値）で+1.3%であった。輸入金額は前月比で2ヶ月ぶりに増加したものの、輸出と比べるとコロナショックからの回復が鈍い。品目で見ると鉱物性燃料の回復が鈍く、全体を押し下げている。

貿易収支は7,510億円と大幅な黒字となった。季節調整値で見ても4,771億円と6ヶ月連続で黒字となった。10-12月期（季節調整値）は1兆3,924億円と7-9月期（9,748億円）から黒字幅が拡大したため、10-12月期実質GDPの外需寄与度はプラスとなる公算が大きい。

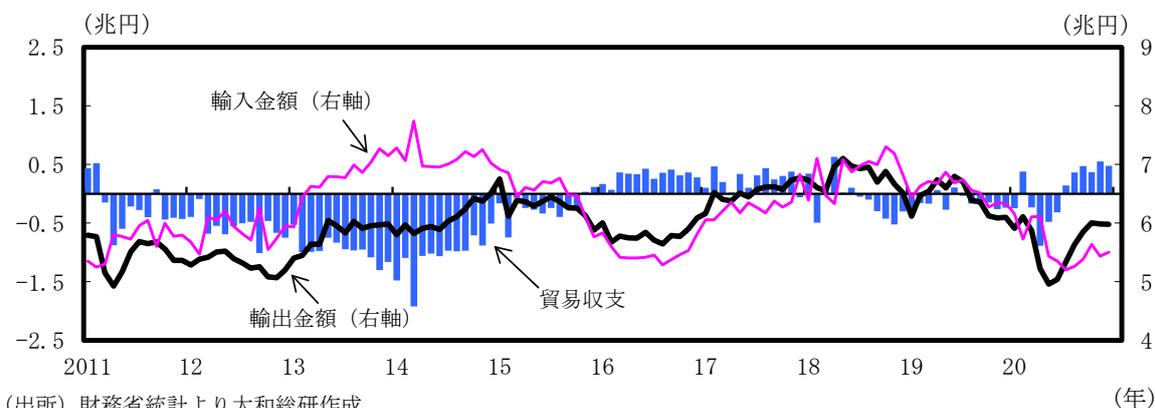
図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】欧米での経済活動制限による需要減少を受け、7ヶ月ぶりに減少

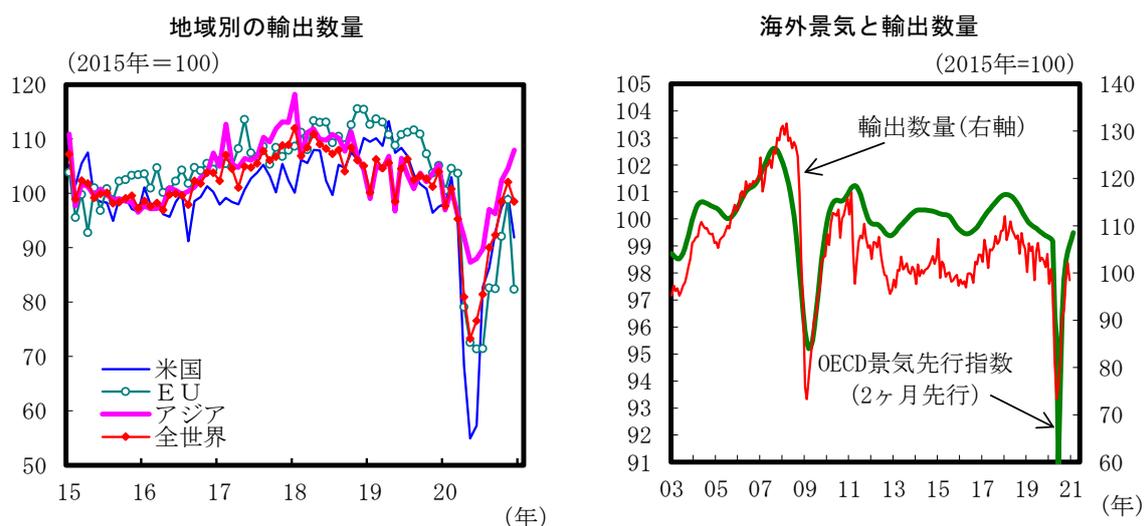
12月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲3.5%と7ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、アジア向け（同+3.2%）は3ヶ月連続で増加したものの、米国向け（同▲7.8%）、EU向け（同▲16.7%）が大幅に減少した。感染拡大の深刻化を受けて実施された欧米での経済活動の制限措置による需要の減少などが影響した。

アジア向けでは中国向け輸出が増加に寄与したとみられ、2018年10月以来の高水準にある。12月の動きを品目別に確認すると、半導体等電子部品、原動機などが増加に寄与した。このうち中国向けでは、上述の2品目に加え半導体等製造装置も押し上げに寄与した。

米国向けでは電算機類が押し上げたものの、自動車的大幅減が全体を押し下げた。米国向け自動車輸出は2020年4月、5月に急速に落ち込んだ後、6月に回復傾向に転じたが、10月から2ヶ月連続で減少している。それでも12月は3月とほぼ同水準にある。

EU向けは自動車や同部分品が減少に寄与した。同地域向けの自動車輸出は9月にコロナショック前（2019年平均）の水準まで回復したが、12月は各国で再実施されたロックダウン（都市封鎖）などの影響を受け、再びショック前の水準を下回った。2020年末までの時限措置であったVAT（付加価値税）減税を実施していたドイツでは自動車販売台数が12月に急増するなど、駆け込み需要が発生していた¹。11月までの輸出の回復には、こうした需要を見越した輸出増も含まれていたと考えられる。他方、自動車部品以外の中間財や資本財に関しては目立った減少品目はなく、昨夏以降の経済活動の再開に伴い、急速に減少した在庫を復元のための輸出増の基調は継続しているとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 内閣府、財務省、OECD統計より大和総研作成

¹ 詳細は近藤智也「[欧州経済見通し 2021年、出だしから躓く](#)」（2021年1月20日、大和総研レポート）を参照。

【見通し】回復基調は継続するが、増加ペースは鈍化する見込み

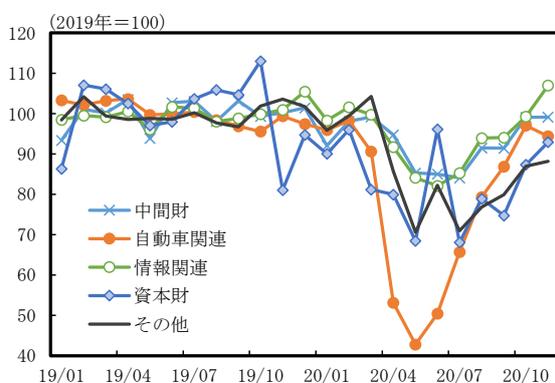
四半期ベースで見れば、輸出数量は2020年10-12月期に大幅に増加したが、2021年1-3月期も緩やかに増加するとみている。地域別に見ると、米国では2020年末に追加の経済対策が成立し、1人当たり最大600ドルの現金給付や失業保険の拡充が決まった。600ドルの給付は既に開始されており、1-3月期の米国の個人消費を押し上げるとみられる。これは対米輸出の増加を後押ししよう。

これまで輸出全体を押し上げてきた中国向けも引き続き底堅く推移するとみている。2020年の中国経済の牽引役は不動産開発とインフラ向けを中心とする固定資産投資であり²、中国向け輸出は鉄鋼や非鉄金属などの中間財を中心に増加した。2021年もインフラ投資の原資となる地方政府特別債券の潤沢な発行が見込まれることから、当面は中国向けの中間財輸出も高水準を維持しよう。

他方、欧州向け輸出については1-3月期に減少するとみられる。欧州では2020年秋からロックダウンなどの厳しい感染拡大防止策が継続されており、景気が二番底へ向かう懸念が高まっている。足元の輸出は在庫復元のための需要増が含まれている可能性があるが、こうした需要増は最終需要が消失する中で徐々に剥落しているとみられる。

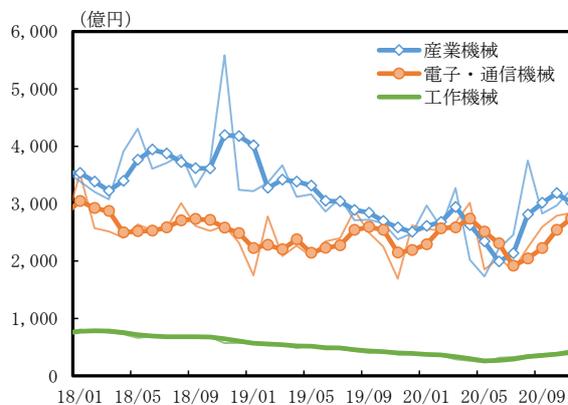
図表5は輸出数量を財別に見たものである（確報ベースのため2020年11月まで）。2020年春のロックダウンの解除以降、輸出の牽引役は自動車関連などの輸送機械であったが、足元では情報関連財、資本財が押し上げに寄与している。これらの財の需要を機械受注統計³の外需で確認すると、昨夏以降、持ち直している（**図表6**）。機械受注の外需は輸出に対して1四半期程度先行する傾向があることから、外需の受注増は1-3月期の輸出に発現する公算が大きい。こうした財の需要回復も1-3月期の輸出を下支えするだろう。他方、足元では自動車生産における半導体の不足による供給制約が一部で生じており、輸出を下押しするリスクがある点には留意が必要である。

図表5：財別に見た輸出数量指数



(注1) 分類は日本銀行「実質輸出入の動向」に基づく。(年/月)
 (注2) 大和総研による季節調整値。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

図表6：機種別外需の機械受注



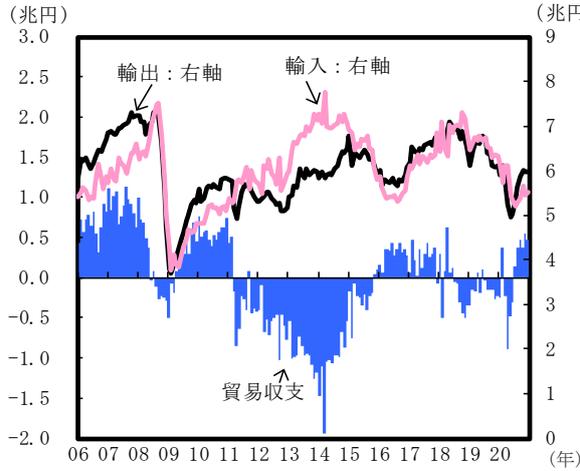
(注) 大和総研による季節調整値、太線は3MA。
 (出所) 内閣府統計より大和総研作成

² 詳細は齋藤尚登「[中国：V字回復下の中国経済の注目点](#)」（大和総研レポート、2021年1月20日）を参照。

³ 詳細は小林若葉「[2020年11月機械受注](#)」（大和総研レポート、2021年1月14日）を参照。

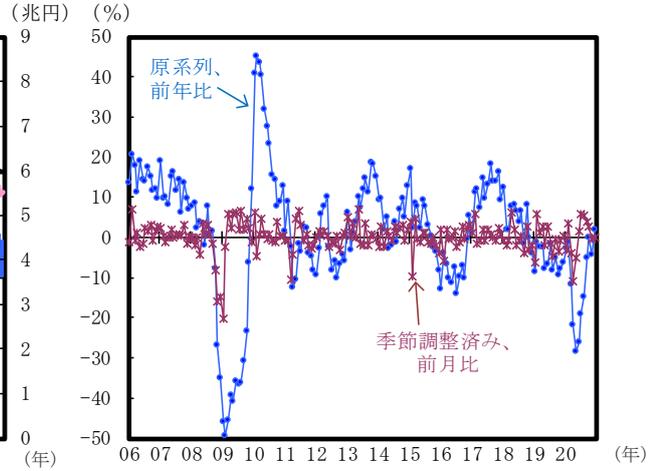
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

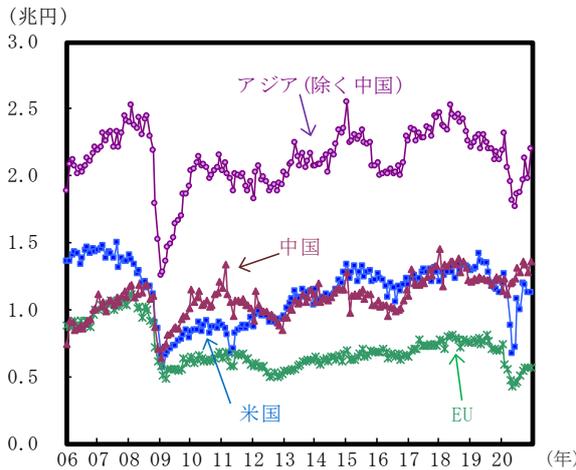


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

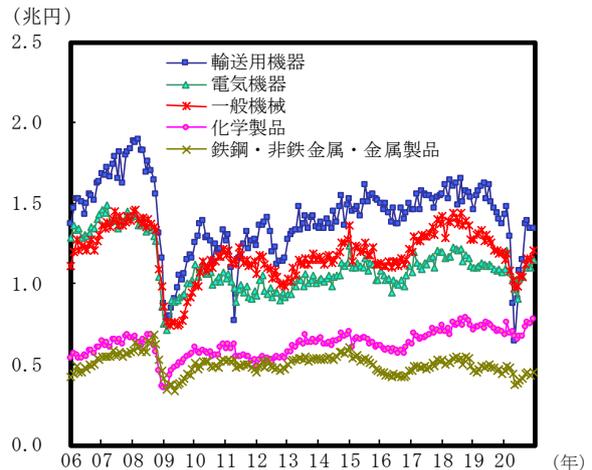


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

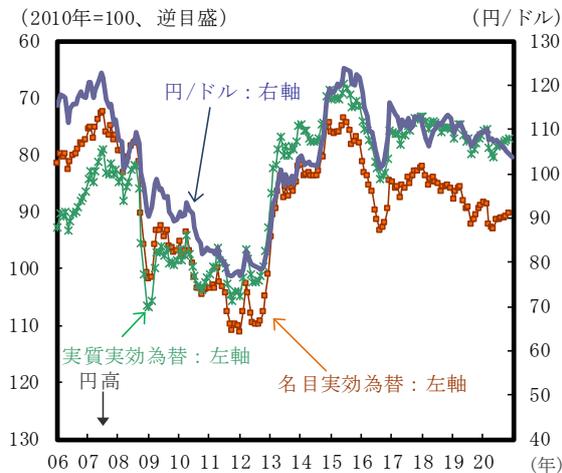


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

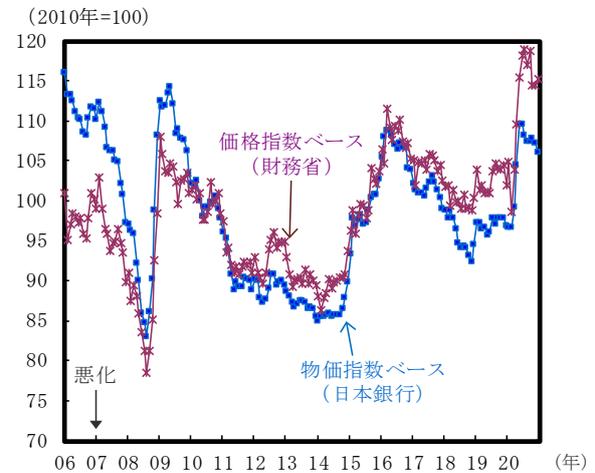


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲19.2	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	100.0	2.0
食料品	4.7	13.1	15.6	21.5	9.8	14.0	1.3	0.2
原料品	▲7.0	▲6.4	5.7	22.2	10.4	24.1	1.7	0.3
鉱物性燃料	▲70.4	▲68.8	▲60.6	▲68.6	▲59.9	▲51.5	0.8	▲0.9
化学製品	▲10.7	▲8.2	1.7	8.2	5.5	10.0	12.4	1.2
原料別製品	▲22.0	▲14.1	▲11.3	▲3.7	▲10.6	▲1.6	10.4	▲0.2
鉄鋼	▲32.0	▲27.4	▲29.1	▲20.4	▲18.5	▲11.8	3.2	▲0.4
非鉄金属	17.2	30.2	41.2	32.3	14.8	23.2	2.2	0.4
金属製品	▲28.1	▲21.7	▲12.0	1.7	▲9.6	4.3	1.6	0.1
一般機械	▲17.7	▲16.8	▲7.8	▲2.8	▲3.0	0.3	19.9	0.1
電気機器	▲7.8	▲5.5	1.0	4.6	1.0	6.6	18.7	1.2
半導体等電子部品	▲0.6	▲0.4	3.3	▲2.7	▲4.0	5.0	5.5	0.3
I C	▲2.5	▲2.8	0.7	▲7.8	▲6.4	1.4	3.7	0.1
映像機器	▲19.5	▲28.7	▲9.4	12.9	5.8			
映像記録・再生機器	▲20.2	▲29.0	▲7.8	20.7	10.3	8.6	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲49.8	▲8.9	1.7	6.4	13.4	▲11.1	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲15.4	▲13.6	▲2.2	4.8	0.7	7.4	2.6	0.2
輸送用機器	▲32.9	▲23.2	▲7.2	▲1.9	▲4.5	▲2.7	21.0	▲0.6
自動車	▲30.0	▲19.4	▲0.5	3.0	▲3.0	▲4.2	14.0	▲0.6
自動車の部分品	▲32.5	▲21.0	▲7.7	4.0	▲2.9	2.7	4.8	0.1
その他	▲11.4	▲11.7	▲0.1	1.3	▲10.0	5.3	13.9	0.7
科学光学機器	▲6.6	▲17.6	▲6.9	1.1	▲11.8	▲3.6	2.9	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲19.5	▲21.3	0.6	2.5	▲2.5	▲0.7	100.0	▲0.7
食料品	▲12.5	▲5.8	10.9	1.8	13.1	16.4	0.9	0.1
原料品	11.4	3.5	7.7	29.5	▲13.7	24.8	0.6	0.1
鉱物性燃料	▲58.8	▲89.7	▲90.6	▲96.4	▲83.3	▲93.5	0.0	▲0.7
化学製品	▲21.8	▲39.3	▲1.6	▲2.1	▲13.9	▲3.2	7.1	▲0.2
原料別製品	▲36.7	▲27.5	▲18.5	▲9.6	▲14.3	▲1.6	6.3	▲0.1
鉄鋼	▲38.2	▲44.4	▲34.0	▲32.3	▲22.1	▲15.4	0.9	▲0.2
非鉄金属	▲46.9	▲43.0	▲40.2	▲39.5	▲16.9	▲10.6	0.6	▲0.1
金属製品	▲33.5	▲17.7	▲11.0	10.7	▲14.3	0.0	1.8	0.0
一般機械	▲30.2	▲34.8	▲19.4	▲8.6	▲4.9	▲5.8	22.3	▲1.4
電気機器	▲16.5	▲12.5	1.7	12.6	0.5	2.9	13.9	0.4
半導体等電子部品	▲21.7	▲15.6	▲5.8	▲1.2	6.1	0.3	1.4	0.0
I C	▲25.6	▲20.2	▲4.4	▲11.1	▲5.4	1.3	0.7	0.0
映像機器	▲12.5	▲31.9	▲3.4	16.4	11.0			
映像記録・再生機器	▲23.4	▲33.8	▲7.6	26.4	13.2	14.2	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	▲83.9	▲46.7	▲27.2	20.1	6.5	▲19.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲20.6	▲18.6	4.1	9.4	1.7	4.8	1.5	0.1
輸送用機器	▲10.5	▲8.6	12.2	15.3	3.5	2.1	38.2	0.8
自動車	▲6.7	▲3.5	19.1	22.5	6.6	3.9	30.0	1.1
自動車の部分品	▲19.6	▲18.3	▲1.1	18.6	6.1	12.8	6.2	0.7
その他	▲16.9	▲17.5	19.6	▲7.3	▲6.6	2.7	10.6	0.3
科学光学機器	▲11.8	▲26.0	▲10.8	9.6	2.7	▲1.0	2.2	▲0.0

EU・英国向け輸出金額 内訳								
	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲44.0	▲32.8	▲24.0	▲19.4	▲18.2	▲17.8	100.0	▲17.8
食料品	▲25.2	▲8.4	▲9.3	11.0	12.1	▲5.5	0.5	▲0.0
原料品	▲39.9	▲39.9	▲14.7	▲14.3	▲38.1	▲31.3	0.8	▲0.3
鉱物性燃料	▲95.8	▲4.1	▲91.8	▲84.9	▲90.2	▲62.3	0.3	▲0.4
化学製品	▲10.3	▲14.7	▲12.8	2.6	5.7	4.1	11.6	0.4
原料別製品	▲35.5	▲35.5	▲32.4	▲17.1	▲20.7	▲18.9	6.3	▲1.2
鉄鋼	▲32.2	▲37.7	▲47.1	9.7	▲24.7	▲40.7	0.7	▲0.4
非鉄金属	▲25.2	▲45.4	▲52.0	▲28.7	▲20.6	▲14.2	0.7	▲0.1
金属製品	▲35.9	▲42.8	▲25.3	▲20.2	▲22.9	▲0.6	1.7	▲0.0
一般機械	▲43.1	▲34.2	▲26.5	▲19.2	▲8.8	▲13.8	23.8	▲3.1
電気機器	▲29.5	▲20.4	▲16.4	▲12.3	▲11.0	▲1.3	20.0	▲0.2
半導体等電子部品	▲25.4	▲15.5	▲9.8	▲1.0	▲10.6	2.5	2.3	0.0
I C	▲29.6	▲19.6	▲9.3	▲9.6	▲17.0	▲6.1	0.9	▲0.0
映像機器	▲31.0	▲37.3	▲12.8	15.6	0.9			
映像記録・再生機器	▲18.7	▲36.0	2.4	38.8	13.3	43.5	1.1	0.3
音響・映像機器の部分品	▲47.0	▲7.0	▲17.8	▲9.7	▲22.8	▲28.7	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲40.3	▲36.3	▲24.0	▲18.8	▲16.3	▲6.9	1.7	▲0.1
輸送用機器	▲58.6	▲36.6	▲20.5	▲27.6	▲29.4	▲33.7	22.5	▲9.4
自動車	▲59.9	▲41.3	▲20.2	▲34.4	▲35.5	▲49.4	11.1	▲8.9
自動車の部分品	▲52.1	▲17.8	▲14.0	▲3.4	▲9.2	▲0.7	7.6	▲0.0
その他	▲49.7	▲46.6	▲36.8	▲25.0	▲27.1	▲23.5	14.2	▲3.6
科学光学機器	▲25.7	▲22.1	▲14.9	▲10.0	▲17.2	10.7	4.0	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.2	▲7.8	▲2.0	4.4	▲4.3	6.1	100.0	6.1
食料品	14.8	17.2	18.4	24.5	6.8	14.8	1.7	0.2
原料品	▲3.8	▲3.2	7.4	25.9	19.2	30.9	2.4	0.6
鉱物性燃料	▲57.3	▲52.7	▲34.7	▲49.1	▲47.5	▲33.2	1.2	▲0.6
化学製品	▲10.3	▲5.3	0.9	9.6	5.6	11.7	16.1	1.8
原料別製品	▲16.8	▲10.7	▲6.3	0.5	▲6.5	1.0	12.4	0.1
鉄鋼	▲29.5	▲27.5	▲26.8	▲18.6	▲15.5	▲11.8	4.1	▲0.6
非鉄金属	19.4	33.7	54.4	41.9	23.3	31.9	3.3	0.8
金属製品	▲24.2	▲18.6	▲11.8	▲1.7	▲8.6	3.8	1.6	0.1
一般機械	▲5.7	▲6.0	0.1	3.2	▲4.7	1.9	19.5	0.4
電気機器	▲2.2	▲2.3	2.9	4.9	1.4	8.5	22.5	1.9
半導体等電子部品	1.7	1.0	4.2	▲2.9	▲4.3	5.2	8.6	0.4
I C	▲0.9	▲1.8	1.1	▲7.8	▲6.2	1.5	6.0	0.1
映像機器	▲21.6	▲22.2	▲16.7	▲2.6	▲3.5			
映像記録・再生機器	▲18.0	▲24.7	▲15.8	4.6	2.9	▲13.3	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲34.3	▲2.3	4.3	▲2.9	15.4	▲9.2	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	▲9.7	▲10.1	▲0.6	6.2	1.4	10.9	3.5	0.4
輸送用機器	▲18.8	▲19.1	▲12.6	▲0.8	▲12.3	9.8	8.5	0.8
自動車	▲16.1	▲9.6	▲3.9	0.2	▲5.8	7.1	4.2	0.3
自動車の部分品	▲32.6	▲25.5	▲15.2	▲5.4	▲11.2	▲3.8	3.2	▲0.1
その他	▲1.3	▲9.6	▲3.5	8.3	▲12.5	5.9	15.7	0.9
科学光学機器	▲1.8	▲15.5	▲5.8	▲0.0	▲14.6	▲7.7	3.5	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.2	5.1	14.0	10.2	3.8	10.2	100.0	10.2
食料品	▲8.1	▲1.6	14.9	10.5	9.2	18.6	0.9	0.2
原料品	19.3	15.0	11.2	30.3	40.3	79.6	2.3	1.1
鉱物性燃料	▲57.7	▲58.4	▲14.1	▲46.2	▲20.1	▲47.5	0.4	▲0.4
化学製品	0.8	2.5	4.3	4.2	1.9	7.7	16.5	1.3
原料別製品	14.0	23.2	30.4	9.8	2.8	6.0	10.7	0.7
鉄鋼	9.9	18.3	14.3	▲0.0	▲4.8	▲13.7	2.6	▲0.5
非鉄金属	72.4	81.4	101.6	34.5	31.4	44.8	3.3	1.1
金属製品	▲9.4	▲1.5	0.8	3.3	▲4.0	4.1	1.7	0.1
一般機械	8.9	6.0	20.7	15.4	2.4	6.0	23.1	1.4
電気機器	12.2	5.6	4.4	4.6	2.2	8.1	20.1	1.7
半導体等電子部品	18.3	10.0	▲14.5	▲16.1	▲17.0	▲6.4	5.3	▲0.4
I C	22.7	9.0	▲28.8	▲29.7	▲26.7	▲15.9	3.3	▲0.7
映像機器	▲11.8	▲20.0	▲18.2	7.2	0.7			
映像記録・再生機器	▲1.5	▲28.0	▲19.2	11.3	5.2	▲24.3	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲41.1	20.9	19.2	▲11.4	9.0	▲28.9	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	5.1	▲3.2	10.0	15.7	9.0	18.4	3.6	0.6
輸送用機器	17.9	18.7	23.5	16.1	4.1	6.3	10.0	0.7
自動車	19.0	29.0	33.6	22.4	12.3	11.2	5.6	0.6
自動車の部分品	16.2	7.8	8.8	5.0	▲4.4	▲0.6	4.2	▲0.0
その他	4.8	▲8.7	13.3	18.3	9.0	25.8	15.9	3.6
科学光学機器	▲0.9	▲17.5	▲5.6	▲10.9	▲18.1	▲20.0	4.3	▲1.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成